審査結果報告書

2019年２月5日

主査氏名：尾崎一

副査氏名：岩渕和也

副査氏名：佐藤之俊

副査氏名：高橋亘

1．申請者氏名：DM15019 名倉 直重

2．論文テーマ：
ラット脛板断裂モデルにおいて神経成長因子の発現は持続している

3．論文審査結果：

この名倉氏の研究は、脛関節の脛板断裂における疼痛発生のメカニズムを解明するために、疼痛に関わるNGF産生がどのように調節されているかについて詳細な解析を行ったものである。ラットの脛板断裂モデルを樹立し、脛板や滑液包の組織培養によるNGFおよび炎症性サイトカインの発現解析や、炎症性サイトカインによる刺激のNGF発現への影響などでin vitroの解析に加え、免疫組織化学染色によるin vivoの発現部位の解析などから、慢性期の疼痛におけるNGFの関与や制御機構について明らかにした非常に高い研究である。将来的には新規の疼痛緩和の治療法の発見につながるものと考えられる。よって十分に博士論文に値する研究であると考えられる。